

20 歳のころ

B 班 草薙来美・島田凌吾・新実滯奈・周航

〈はじめに〉

「人と人とのつながりを大切にする」ことをモットーとしているところに魅力を感じたため、HIS 証券株式会社様をインタビューさせて頂きました。

アパホテル株式会社様は誰もが利用したことがあるような会社で、社長ご自身もメディアにご出演していることに目を留めました。そして、貢献ファーストを掲げ、企業理念を崩すことなく時代背景に合わせた施策を行っていることに魅力を感じ、インタビューをさせて頂きました。

〈ご紹介〉

・HIS 証券株式会社 代表取締役社長 小林昇太郎様

HIS 証券株式会社 人事・総務部 人事課主任 緒刑ちさと様 （インタビューの際にご同席くださいました。）

・アパホテル株式会社 代表取締役社長 元谷芙美子様 （書面にて対応して下さいました。）

〈インタビューの内容〉

Q 20 歳の頃、何をしていたのか。何を目指していたのか。

元谷様

高校を卒業後就職した福井信用金庫で、営業の醍醐味を知り、毎日夜遅くまで預金の営業に明け暮れていたが、そんな時に後の夫となる元谷外志雄と出会い、22 歳で結婚した。結婚 1 年後、夫がアパホテルの前身である住宅不動産開発会社「信金開発株式会社」を石川県で立ち上げ、自分も創業時から参画していた。

小林様

明治大学の工学部、電気工学科に通い、好きなギターと家庭教師のバイトばかりを行い、真面目に勉強に取り組んでいなかった。

Q 人生の分岐点はどこか。

元谷様

人生の分岐点はいくつもあったが、最も大きかったのは高校三年生の時で、福井県でも有数の進学校に通っており、いずれは大学に進学して学校の先生になりたいと思っていた。しかし父の病で大学進学を諦め、クラスで唯一就職することを決めた。当時は残念という思いもあったが、信用金庫就職したことで今の夫と出会い、こうして社長をさせて頂く事が出来たことを幸せに思う。**人間万事塞翁が馬。**

小林様

SMBCの日興証券に勤めていたものの、39歳で働いていても見込みがないと感じ、辞めようと思っていた時に丁度ベンチャー企業の立ち上げがあったため、一旗あげようとそちらへ行くも、失敗する。その後別の会社へ移動し、2007年にこの証券会社へ入った。そして、2020年1月に社長に就任した。

Q 壁を乗り越えるためには。

元谷様

何があっても大丈夫、望むところよ！と思えるまでリスクコントロールすることが大事だと思っているし、**予期せぬリスクに速やかに対処することが**、自分の生きがいの一つ。

小林様

壁に当たったとき、**出来るまでやる**ことが大事。そもそも皆諦めるのが早い！目標を決めたら達成出来るまでやれば達成できる！
大抵の事は諦めなければ出来る！

しかしただがむしゃらにしているのも無駄なので、そこに**合理性の追求、効率の良さ**をつけ加えて考える。

小林様に対して—

Q なぜ証券会社を選んだのか。

バブルの最中、理科系の人間が証券会社に勤めるのはカッコよいと思われていて、憧れたのと、キラキラして見えたから。

Q なぜ工学部に入ったのか。

音楽が好きで、スピーカーとか音響開発をしたかったから。

Q オススメしたい本などはあるか。

株などの本質を理解するためには、世の中を理解することが必要。株価や経済についてリアルに知れるのは**日本経済新聞**で、どう世の中が回っているのか、1 番知れる。

元谷様に対して—

Q 現代女性、これから 20 歳を迎える人々へ 1 番伝えたいことはなにか。

座右の銘のひとつに「夢は要らない。的確な未来予想の基、戦略人生を歩め。」というものがある。「夢」を持つのは悪いことではないし、「夢」に向かって努力をすることも素敵なことだと思うが、**それだけでは弱い**。自分の手が届くよりも少し上の目標を掲げ、達成の期日を設定し、戦略を立て、それに沿って日々を過ごす必要がある。

Q 人を動かす立場にいて何が一番重要か。

リーダーとは、どんな時にも負けない姿を見せて部下を率いる存在でなければなら**ない**。そのため、営業現場でも率先して最前線に立ち、部下に背中を見せてきた。しかし強いだけではうまくいかない。部下に対する細やかな気配りや、特に人の欠点より、**いいところに目を向ける**ことが大切である。社員がそれぞれの長所を生かしたおもてなしを行う、「崩れ積み」スタイルをとっている。

Q これからどこへどう向かっていきたいか。

100 歳までミニスカートにヒールをはいて、社長として最前線でお仕事を続けたい。またいつか、ホテル大学を創り、若い人たちを育成していきたいと思う。

インタビューを終えて

今回のインタビューを終えて、普段お目にかかれない貴重な方々のお話、お考えが身をもって知ることができました。

そしてどんな困難でも、**諦めないこと・ゴールを見つける・戦略を立てる**が

いかに大切なのわかりました。

お二人の経歴は全く違いますが、それでもこの三つは大切なことだと感じました。この「二十歳のころ」を通して、私たちのこれからの生活に大きなを与えてくれると思います。